

製品名: APP-BP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07056**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	67kDa

抗原情報

遺伝子名	APPBP2
別名	APPBP2; KIAA0228; PAT1; Amyloid protein-binding protein 2; Amyloid beta precursor protein-binding protein 2; APP-BP2; Protein interacting with APP tail 1
遺伝子 ID	10513.0
SwissProt ID	Q92624
免疫原	APP-BP2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 390-470

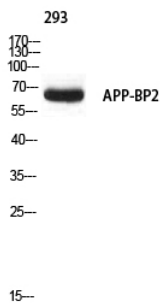
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は微小管と相互作用し、βアミロイド前駆体タンパク質の輸送および/または処理に機能

的に関連している。βアミロイド前駆体タンパク質はシグナル伝達特性を持つ細胞表面タンパク質であり、アルツハイマー病の病因に関与していると考えられている。コードされるタンパク質は細胞死の制御に関与している可能性がある。この遺伝子は乳がんにおいて高発現していることが分かっている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2013年9月]機能: 細胞内タンパク質輸送に関与している可能性がある。APPが微小管に沿って細胞表面へ移行する過程に関与している可能性がある。翻訳後修飾: APPのC末端断片の過剰発現により、プロテアソームによって速やかに分解される。類似性: 8つのTPRリピートを含む。細胞内局在: 膜および微小管に関与する。サブユニット: APPに結合する。

研究分野

画像データ



APP-BP2抗体を用いた293のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。